

9. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携事業：看護・社会福祉連携事業

1) 高知医療センター・高知県立大学スキルズラボ

(1) 高知医療センター・高知県立大学スキルズラボの相互利用の概要

高知医療センター2階に高知医療センタースキルズラボが開設されている。本学からは、医療センター看護局を通じて高知医療センターのイントラネットを使用して事前予約をおこなってから使用することになっており、主に学部生実習などの目的で使用している。高知医療センターの医師や看護師も事前予約の上、本学に設置している設備および備品（シミュレータなど）を使用できる。申込書類は総務企画課に提出されるため、設備および備品の管理責任者は総務企画課から連絡があった場合、設置室、設備および備品を確保する。

(2) 高知医療センタースキルズラボの利用実績

令和3年度（9月末現在）における高知医療センタースキルズラボ使用実績として使用人数は施設使用241件、使用人数679名であった。昨年度より減少が見られる。コロナ禍での交流制限の中、今後の利用促進が課題である。

(3) 高知県立大学スキルズラボの利用実績

本年度の高知医療センターによる本学施設の利用実績はなかった。コロナ禍での交流制限の中、今後の利用促進が課題である。

(4) 高知医療センター・高知県立大学スキルズラボ運営委員会

本学からの委員として、池田教授と井上講師が参加している。本年度は令和3年11月1日（月）に第1回スキルズラボ運営委員会が開催された。令和3年度スキルズラボ備品等決算、令和3年度使用実績・報告、令和4年度スキルズラボ備品等予算について話し合われた。運営委員会での議論は、高知医療センターとの包括的連携協議会において報告された。

(5) 次年度の課題

本年度は昨年度に比べて、本学からのスキルズラボ使用実績が少なかった。コロナ禍において医療センター職員、学生（学部・大学院）や教員の相互乗り入れに制限が加わる状況下でやむを得ない部分もあるが、両機関の積極的な相互利用が望まれる。今後も、新型コロナウイルス感染症の流行状況および新型コロナウイルス感染症に伴う両機関への入構制限を勘案しながらスキルズラボの相互乗り入れを促進していく必要がある。

(6) キルズラボ備品

本年度のスキルズラボの備品は昨年度と同様である。